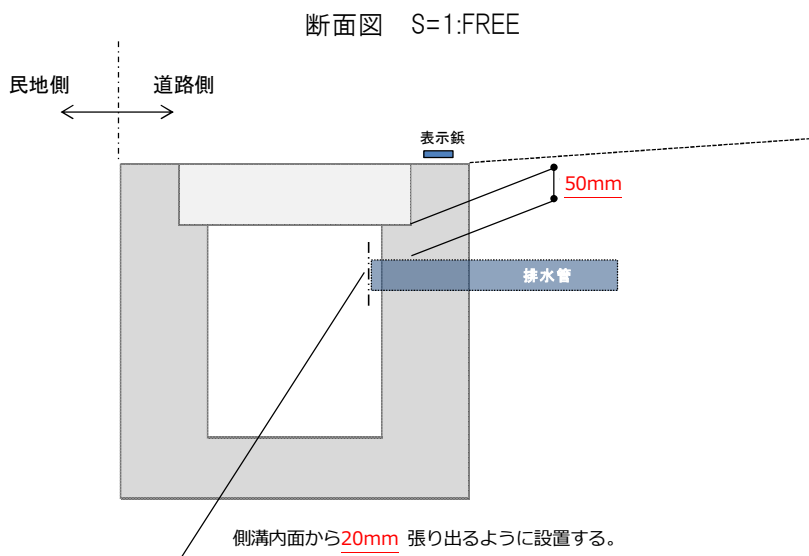
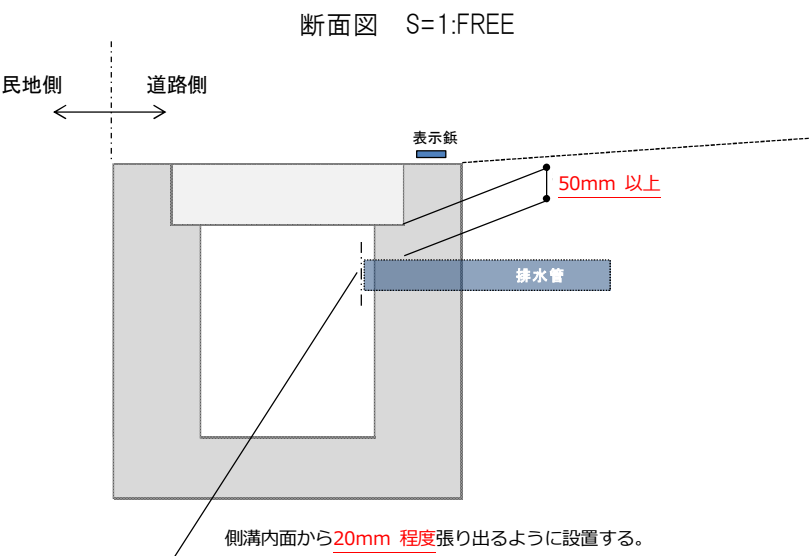


給水装置設計施工指針 新旧対照表

新	旧
(指定給水装置工事事業者)	(指定給水装置工事事業者)
<p>第2章</p> <p>5 越谷・松伏水道企業団指定給水装置工事事業者規程</p> <p>指定工事業者に関する全般項目については、越谷・松伏水道企業団指定給水装置工事事業者規程 <u>(以下、「事業者規程」という。)</u> (参考資料参照) による。</p> <p><u>なお、事業者規程第12条第4項において、当該2以上の事業所の主任技術者となってもその職務を行うに当たって支障がないことを確認した書類を提出すること。(参考様式参照)</u></p>	<p>第2章</p> <p>5 越谷・松伏水道企業団指定給水装置工事事業者規程</p> <p>指定工事業者に関する全般項目については、越谷・松伏水道企業団指定給水装置工事事業者規程 (参考資料参照) による。</p>
(給水装置の調査・計画・設計)	(給水装置の調査・計画・設計)
<p>第4章</p> <p>6 給水装置工事計画時の注意事項及び指定材料の使用基準</p> <p>略</p> <p>(2) 略</p> <p>(ク) 他の埋設管及び構造物等に近接する場合、給水管の管種にかかわらず、端部からの間隔(有効寸法)を30cm以上確保すること。ただし、埋設状況及び土被りの影響により、30cm以上の離隔を確保できない場合は、次のとおり防護措置を行うこと。</p> <p>(A) 略</p> <p><u>(B) 高密度ポリエチレン管を鋼管によって防護する場合、防護管端部と配管が接触する部分に、損傷防止のための措置を講ずること。</u></p> <p><u>(C) 略</u></p>	<p>第4章</p> <p>6 給水装置工事計画時の注意事項及び指定材料の使用基準</p> <p>略</p> <p>(2) 略</p> <p>(ク) 他の埋設管及び構造物等に近接する場合、給水管の管種にかかわらず、<u>原則として</u>端部からの間隔(有効寸法)を<u>原則として</u>30cm以上確保すること。ただし、埋設状況及び土被りの影響により、30cm以上の離隔を確保できない場合は、次のとおり防護措置を行うこと。</p> <p>(A) 略</p> <p><u>(B) 略</u></p>

新					旧				
9 用途別分岐口径及びメーター口径等 表4-2…用途別分岐口径及びメーター口径（専用住宅及び併用住宅等）					9 用途別分岐口径及びメーター口径等 表4-2…用途別分岐口径及びメーター口径（専用住宅及び併用住宅等）				
用途	階数	分岐口径 (mm)	メーター口径(mm)	備考	用途	階数	分岐口径 (mm)	メーター口径(mm)	備考
専用住宅	2階以下	Φ25	Φ20	表4-3	専用住宅	2階以下	Φ25	Φ20	表4-3
	2階以下	Φ25	Φ25	表4-3		2階以下	Φ25	Φ25	表4-3
	3階	Φ25	Φ25	ただし、3階タンク式トイレ1枚又は敷水栓1枚の場合を除く。		3階	Φ25	Φ25	ただし、3階タンク式トイレ1枚又は敷水栓1枚の場合を除く。
二世帯専用住宅※1 (1戸建ての住宅)	2階以下	Φ25	Φ25	表4-3	二世帯専用住宅※1 (1戸建ての住宅)	2階以下	Φ25	Φ25	表4-3
	2階以下	Φ50	Φ20×2	既存引込管Φ25mmがある場合のみ、水圧測定結果による。※5		2階以下	Φ50	Φ20×2	既存引込管Φ25mmがある場合のみ、水圧測定結果による。※5
	3階	Φ25	Φ25	ただし、3階タンク式トイレ1枚又は敷水栓1枚の場合を除く。		3階	Φ25	Φ25	ただし、3階タンク式トイレ1枚又は敷水栓1枚の場合を除く。
併用住宅	2階以下	Φ25	Φ20	表4-3, 他※3	併用住宅	2階以下	Φ25	Φ20	表4-3
	2階以下	Φ25	Φ25	表4-3, 他※3		2階以下	Φ25	Φ25	表4-3
	2階以下	Φ50	Φ20×2	表4-3, 他※3		2階以下	Φ50	Φ20×2	表4-3
併用住宅	3階	Φ25	Φ25	ただし、3階タンク式トイレ1枚又は敷水栓1枚の場合を除く。	併用住宅	3階	Φ25	Φ25	ただし、3階タンク式トイレ1枚又は敷水栓1枚の場合を除く。
	3階	Φ50	Φ20、Φ25	用途を別に分ける場合。ただし、3階への給水はΦ25mmとする。		3階	Φ50	Φ20、Φ25	用途を別に分ける場合。ただし、3階への給水はΦ25mmとする。
事務所等 (店舗・児童福祉施設等)	2階以下	※2	※3	図4-3等による計算	事務所等 (店舗・児童福祉施設等)	2階以下	※2	※3	図4-3等による計算
(直結増圧式給水)					(直結増圧式給水)				
第6章 8 メーターの設置 略 (1) 増圧式による共同住宅のメーター設置は、原則として親メーターを設置せずPS内に設置する。					第6章 8 メーターの設置 略 (1) 増圧式による共同住宅のメーター設置は、原則として親メーターを設置せず各戸ごとに設置する。				
(貯水槽式給水)					(貯水槽式給水)				
第7章 5 貯水槽の基準 略 (5) 不等沈下対策として、 <u>ステンレス製</u> フレキシブルジョイント（Φ25-400mm・Φ40以上-700mm以上）を設置すること。ただし、敷地内配管に高密度ポリエチレン管又は配水用ポリエチレン管等の耐震管を使用する場合は、この					第7章 5 貯水槽の基準 略 (5) 不等沈下対策として、フレキシブルジョイント（Φ25-400mm・Φ40以上-700mm以上）を設置すること。ただし、敷地内配管に高密度ポリエチレン管又は配水用ポリエチレン管等の耐震管を使用する場合は、この限りでない。				

新	旧
限りでない。	
(給水装置先行取出)	(給水装置先行取出)
<p>第8章</p> <p>7 給水装置の構造及び配管形態</p> <p>(10) 排水管は道路側溝の側面の蓋の掛りより、有効<u>5cm</u> 下げた位置に設置すること。</p> <p>(11) 排水管の管末は側溝内面から<u>2cm</u> 張り出すこと。</p> <p>○排水管設置標準図</p> <p>断面図 S=1:FREE</p>  <p>側溝内面から<u>20mm</u> 張り出るように設置する。</p>	<p>第8章</p> <p>7 給水装置の構造及び配管形態</p> <p>(10) 排水管は道路側溝の側面の蓋の掛りより、有効<u>5cm 以上</u> 下げた位置に設置すること。</p> <p>(11) 排水管の管末は側溝内面から<u>2cm 程度</u> 張り出すこと。</p> <p>○排水管設置標準図</p> <p>断面図 S=1:FREE</p>  <p>側溝内面から<u>20mm 程度</u> 張り出るように設置する。</p>

新				旧			
(工事施工)				(工事施工)			
第9章 10 工事写真 略				第9章 10 工事写真 略			
表9-2…給水管分岐工事写真撮影箇所①				表9-2…給水管分岐工事写真撮影箇所①			
No.	項目	撮影箇所	撮影方法等	No.	項目	撮影箇所	撮影方法等
(1)	着工前	① 作業箇所の施工前状況	黒板(図9-12)に「着工前」と記入し、撮影する。	(1)	着工前	① 作業箇所の施工前状況	黒板(図9-12)に「着工前」と記入し、撮影する。
(2)	完了後	② 仮復旧完了状況	黒板(図9-12)に「完了後」と記入し、撮影する。	(2)	完了後	② 仮復旧完了状況	黒板(図9-12)に「完了後」と記入し、撮影する。
(3)	材料確認	③ 分岐材料(分岐口径確認)	黒板(図9-12)に「材料確認」と記入し、撮影する。 分岐口径が確認できるように側面又は蓋等を撮影する。	(3)	材料確認	③ 分岐材料(分岐口径確認)	黒板(図9-12)に「材料確認」と記入し、撮影する。 分岐口径が確認できるように側面又は蓋等を撮影する。
		④ ポリスリーブ	黒板(図9-12)に「材料確認」と記入し、撮影する。			④ ポリスリーブ	黒板(図9-12)に「材料確認」と記入し、撮影する。
		⑤ 年号テープ	黒板(図9-12)に「材料確認」と記入し、年号が確認できるように撮影する。			⑤ 年号テープ	黒板(図9-12)に「材料確認」と記入し、年号が確認できるように撮影する。
(4)	保安要員	⑥ 工事看板設置状況	黒板(図9-12)に「保安要員」と記入し、看板や誘導員を撮影する。	(4)	保安要員	⑥ 工事看板設置状況	黒板(図9-12)に「保安要員」と記入し、看板や誘導員を撮影する。
		⑦ 交通誘導員配置状況	黒板(図9-12)に「保安要員」と記入し、看板や誘導員を撮影する。			⑦ 交通誘導員配置状況	黒板(図9-12)に「保安要員」と記入し、看板や誘導員を撮影する。
		⑧ 作業現場と歩行者との分離状況	黒板(図9-12)に「保安要員」と記入し、看板や誘導員を撮影する。			⑧ 作業現場と歩行者との分離状況	黒板(図9-12)に「保安要員」と記入し、看板や誘導員を撮影する。
(5)	カッター工	⑨ カッター施工状況	黒板(図9-12)に「カッター工」と記入し、撮影する。	(5)	カッター工	⑨ カッター施工状況	黒板(図9-12)に「カッター工」と記入し、撮影する。
(6)	分岐材料取付状況	⑩ サドル付分水栓又は新T字管取付後の状況	黒板(図9-12)に「分岐材料取付状況」と記入し、撮影する。	(6)	分岐材料取付状況	⑩ サドル付分水栓又は新T字管取付後の状況	黒板(図9-12)に「分岐材料取付状況」と記入し、撮影する。
(7)	水圧試験(給水管分岐部)	⑪ 水圧試験開始前(0.74Mpaにて5分間)※1	黒板(図9-12)に下記の事項を記入し、時計と分岐部を含んで撮影する。 「水圧試験」「0.74Mpa」「時間」「配水管、給水管の口径及び管種」 ※HPPEの場合は、①0.74Mpaにて5分間②0.74Mpaまで再加圧③0.74Mpaにて5分間	(7)	水圧試験(給水管分岐部)	⑪ 水圧試験開始前(0.74Mpaにて5分間)※1	黒板(図9-12)に下記の事項を記入し、時計と分岐部を含んで撮影する。 「水圧試験」「0.74Mpa」「時間」「配水管、給水管の口径及び管種」 ※HPPEの場合は、①0.74Mpaにて5分間②0.74Mpaまで再加圧③0.74Mpaにて5分間
		⑫ 水圧試験終了後(0.74Mpaにて5分間)※1 ※HPPEの場合は、0.6Mpa以上あること。	黒板(図9-12)に下記の事項を記入し、時計と分岐部を含んで撮影する。 「水圧試験」「0.74Mpa」「時間」「配水管、給水管の口径及び管種」			⑫ 水圧試験終了後(0.74Mpaにて5分間)※1 ※HPPEの場合は、0.6Mpa以上あること。	黒板(図9-12)に下記の事項を記入し、時計と分岐部を含んで撮影する。 「水圧試験」「0.74Mpa」「時間」「配水管、給水管の口径及び管種」
		⑬ 水圧試験開始前(0.5Mpaにて5分間) ※配水管がAC又はAS管の場合	黒板(図9-12)に下記の事項を記入し、時計と分岐部を含んで撮影する。 「水圧試験」「0.5Mpa」「時間」「配水管、給水管の口径及び管種」			⑬ 水圧試験開始前(0.5Mpaにて5分間) ※配水管がAC又はAS管の場合	黒板(図9-12)に下記の事項を記入し、時計と分岐部を含んで撮影する。 「水圧試験」「0.5Mpa」「時間」「配水管、給水管の口径及び管種」
		⑭ 水圧試験終了後(0.5Mpaにて5分間) ※配水管がAC又はAS管の場合	黒板(図9-12)に下記の事項を記入し、時計と分岐部を含んで撮影する。 「水圧試験」「0.5Mpa」「時間」「配水管、給水管の口径及び管種」			⑭ 水圧試験終了後(0.5Mpaにて5分間) ※配水管がAC又はAS管の場合	黒板(図9-12)に下記の事項を記入し、時計と分岐部を含んで撮影する。 「水圧試験」「0.5Mpa」「時間」「配水管、給水管の口径及び管種」
(8)	穿孔状況	⑮ 穿孔機の取付状況	黒板(図9-12)に「穿孔状況」と記入し、穿孔機が見えるように撮影する。 配水管がGX管の場合は、内面粉体用の刃を確認できるように撮影する。	(8)	穿孔状況	⑮ 穿孔機の取付状況	黒板(図9-12)に「穿孔状況」と記入し、穿孔機が見えるように撮影する。 配水管がGX管の場合は、内面粉体用の刃を確認できるように撮影する。
		⑯ 挿入機へのコア装着状況	黒板(図9-12)に「コア挿入状況」と記入し、撮影する。			⑯ 挿入機へのコア装着状況	黒板(図9-12)に「コア挿入状況」と記入し、撮影する。
(9)	コア挿入状況	⑰ 挿入状況	黒板(図9-12)に「コア挿入状況」と記入し、撮影する。	(9)	コア挿入状況	⑰ 挿入状況	黒板(図9-12)に「コア挿入状況」と記入し、撮影する。
		⑱ コア挿入後状況	黒板(図9-12)に「コア挿入状況」と記入し、撮影する。			⑱ コア挿入後状況	黒板(図9-12)に「コア挿入状況」と記入し、撮影する。
		⑱ スタッフによる埋設深さ状況	黒板(図9-12)に「配管状況」と記入し、配水管及び給水管の埋設状況並びにポリスリーブ取付状況を撮影する。			⑱ スタッフによる埋設深さ状況	黒板(図9-12)に「配管状況」と記入し、配水管及び給水管の埋設状況並びにポリスリーブ取付状況を撮影する。
00	配管状況	⑲ 融着状況(EFサドル1箇所及び給水管路(配水管分岐部から第1止水栓まで)の間に1箇所)	黒板(図9-12)に「融着状況」と記入し、撮影する。 「押し口標線及び融着面の波形線マーキング状況」「融着面の切削(スラブ)完了後」 「融着面の清掃(押し口/受口)状況」「クランプの固定」 「冷却完了時間」「インジケータの検起」が確認できるように撮影する。	00	配管状況	⑲ 融着状況(EFサドル1箇所及び給水管路(配水管分岐部から第1止水栓まで)の間に1箇所)	黒板(図9-12)に「融着状況」と記入し、撮影する。 「押し口標線及び融着面の波形線マーキング状況」「融着面の切削(スラブ)完了後」 「融着面の清掃(押し口/受口)状況」「クランプの固定」 「冷却完了時間」「インジケータの検起」が確認できるように撮影する。
		⑳ ポリスリーブの取付完了後	分岐部から第一止水栓が確認できるように撮影する。 給水管と構造物、他の埋設管との距離を30cm以上確保している状況を撮影する。 又は、給水管に防護措置を講じた状況を撮影する。			⑳ ポリスリーブの取付完了後	分岐部から第一止水栓が確認できるように撮影する。
		㉑	給水管と構造物、他の埋設管との距離を30cm以上確保している状況を撮影する。 又は、給水管に防護措置を講じた状況を撮影する。			㉑	給水管と構造物、他の埋設管との距離を30cm以上確保している状況を撮影する。 又は、給水管に防護措置を講じた状況を撮影する。
		㉒	給水管と構造物、他の埋設管との距離を30cm以上確保している状況を撮影する。 又は、給水管に防護措置を講じた状況を撮影する。			㉒	給水管と構造物、他の埋設管との距離を30cm以上確保している状況を撮影する。 又は、給水管に防護措置を講じた状況を撮影する。

新

表9-3…給水管分岐工事写真撮影箇所②

01	水圧試験 (第一止水栓等)	02	水圧試験開始前 (0.74Mpaにて5分間) ※1	黒板 (図9-12) に下記の事項を記入し、時計と分岐部を含んで撮影する。 「水圧試験」 「0.74Mpa」 「継続時間」 「配水管、給水管の口径及び管種」 ※HPPEの場合は、①0.74Mpaにて5分間②0.74Mpaまで再加圧③0.74Mpaにて5分間
		03	水圧試験終了後 (0.74Mpaにて5分間) ※1 ※HPPEの場合は、0.6Mpa以上あること。	黒板 (図9-12) に下記の事項を記入し、時計と分岐部を含んで撮影する。 「水圧試験」 「0.74Mpa」 「継続時間」 「配水管、給水管の口径及び管種」
02	埋戻工	04	埋砂 1層目	黒板 (図9-12) に「埋戻工」と記入し、撮影する。 ※2
		05	埋砂 2層目	黒板 (図9-12) に「埋戻工」と記入し、撮影する。 ※2
		06	埋砂 3層目 H=450 表示シート	黒板 (図9-12) に「埋戻工」と記入し、撮影する。 ※2
		07	40~0 1層目	黒板 (図9-12) に「埋戻工」と記入し、撮影する。 ※2
		08	40~0 2層目	黒板 (図9-12) に「埋戻工」と記入し、撮影する。 ※2
		09	30~0	黒板 (図9-12) に「埋戻工」と記入し、撮影する。 ※2
03	乳剤散布	04	乳剤散布後状況	
04	舗装工	05	転圧状況前	黒板 (図9-12) に「舗装工」と記入し、撮影する。
		06	転圧状況中	黒板 (図9-12) に「舗装工」と記入し、撮影する。
		07	転圧状況後	黒板 (図9-12) に「舗装工」と記入し、撮影する。
05	シールコート工	06	施工状況	黒板 (図9-12) に「シールコート工」と記入し、撮影する。
06	板復旧表示	07	Wマーク、施工年月、指定店番号 (黄色スプレーで道路標示)	

※1 給水装置先行取出工事の場合は、別に定めるところによる。

※2 一層あたりの仕上げ厚については道路管理者の指示による。

旧

表9-3…給水管分岐工事写真撮影箇所②

01	水圧試験 (第一止水栓等)	02	水圧試験開始前 (0.74Mpaにて5分間) ※1	黒板 (図9-12) に下記の事項を記入し、時計と分岐部を含んで撮影する。 「水圧試験」 「0.74Mpa」 「継続時間」 「配水管、給水管の口径及び管種」 ※HPPEの場合は、①0.74Mpaにて5分間②0.74Mpaまで再加圧③0.74Mpaにて5分間
		03	水圧試験終了後 (0.74Mpaにて5分間) ※1 ※HPPEの場合は、0.6Mpa以上あること。	黒板 (図9-12) に下記の事項を記入し、時計と分岐部を含んで撮影する。 「水圧試験」 「0.74Mpa」 「継続時間」 「配水管、給水管の口径及び管種」
02	埋戻工	04	埋砂 1層目	黒板 (図9-12) に「埋戻工」と記入し、撮影する。 ※2
		05	埋砂 2層目	黒板 (図9-12) に「埋戻工」と記入し、撮影する。 ※2
		06	埋砂 3層目 H = 450 表示シート	黒板 (図9-12) に「埋戻工」と記入し、撮影する。 ※2
		07	40~0 1層目	黒板 (図9-12) に「埋戻工」と記入し、撮影する。 ※2
		08	40~0 2層目	黒板 (図9-12) に「埋戻工」と記入し、撮影する。 ※2
		09	30~0	黒板 (図9-12) に「埋戻工」と記入し、撮影する。 ※2
03	乳剤散布	04	乳剤散布後状況	
04	舗装工	05	転圧状況前	黒板 (図9-12) に「舗装工」と記入し、撮影する。
		06	転圧状況中	黒板 (図9-12) に「舗装工」と記入し、撮影する。
		07	転圧状況後	黒板 (図9-12) に「舗装工」と記入し、撮影する。
05	シールコート工	06	施工状況	黒板 (図9-12) に「シールコート工」と記入し、撮影する。
06	板復旧表示	07	Wマーク、施工年月日、業者番号 (黄色スプレーで道路標示)	

※1 給水装置先行取出工事の場合は、別に定めるところによる。

※2 一層あたりの仕上げ厚については道路管理者の指示による。

新	旧																																																																																												
(様式集)	(様式集)																																																																																												
16章	16章																																																																																												
(指針第23号様式)	(指針第23号様式)																																																																																												
<div style="text-align: center;"> <h3>無償譲渡申込書</h3> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>越谷・松伏水道企業団 企業長 宛</p> <p style="text-align: center;">申請者(給水装置所有者) 住所</p> <p style="text-align: center;">氏名 印</p> <p>下記のとおり給水装置先行取出自工事申込書を申請しましたが、道路を縦断する給水管については、配水管又は配水支管として無償譲渡いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">申請地</td> <td colspan="4">越谷市</td> </tr> <tr> <td colspan="4">松伏町</td> </tr> <tr> <td>国・県・市・町道</td> <td colspan="4">取付・地先 (国 県 市 町 その他)</td> </tr> <tr> <td>道路認定番号</td> <td colspan="4">道 _____ 号線</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">管の種類</td> <td>管種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>口径</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>竣工時</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">m</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>先行認定番号</td> <td colspan="4">No.</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table> </div>	申請地	越谷市				松伏町				国・県・市・町道	取付・地先 (国 県 市 町 その他)				道路認定番号	道 _____ 号線				管の種類	管種				口径				竣工時	m	m	m	合計				先行認定番号	No.				備考					<div style="text-align: center;"> <h3>無償譲渡申込書</h3> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>越谷・松伏水道企業団 企業長 宛</p> <p style="text-align: center;">申請者(給水装置所有者) 住所</p> <p style="text-align: center;">氏名 印</p> <p>下記のとおり給水装置先行取出自工事申込書を申請しましたが、道路を縦断する給水管については、配水管又は配水支管として無償譲渡いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 15%;">申請地</td> <td colspan="4">越谷市</td> </tr> <tr> <td colspan="4">松伏町</td> </tr> <tr> <td>市道・町道</td> <td>市道 _____ 号線</td> <td>町道 _____ 号線</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>認定番号</td> <td colspan="4">取付・地先 (国 県 市 町 その他)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">管の種類</td> <td>管種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>口径</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>竣工時</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">m</td> <td style="text-align: center;">m</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>認定番号</td> <td colspan="4">No.</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table> </div>	申請地	越谷市				松伏町				市道・町道	市道 _____ 号線	町道 _____ 号線			認定番号	取付・地先 (国 県 市 町 その他)				管の種類	管種				口径				竣工時	m	m	m	合計				認定番号	No.				備考				
申請地		越谷市																																																																																											
	松伏町																																																																																												
国・県・市・町道	取付・地先 (国 県 市 町 その他)																																																																																												
道路認定番号	道 _____ 号線																																																																																												
管の種類	管種																																																																																												
	口径																																																																																												
	竣工時	m	m	m																																																																																									
	合計																																																																																												
先行認定番号	No.																																																																																												
備考																																																																																													
申請地	越谷市																																																																																												
	松伏町																																																																																												
市道・町道	市道 _____ 号線	町道 _____ 号線																																																																																											
認定番号	取付・地先 (国 県 市 町 その他)																																																																																												
管の種類	管種																																																																																												
	口径																																																																																												
	竣工時	m	m	m																																																																																									
	合計																																																																																												
認定番号	No.																																																																																												
備考																																																																																													

新	旧
(参考様式)	
<p style="text-align: center;"><u>誓約書(案)</u></p> <p><u>越谷・松伏水道企業団 企業長 宛</u></p> <p><u>弊社が選任する給水装置工事主任技術者</u> が、2 以上の事業 <u>所の主任技術者を兼ねることとなりますが、その職務を行うに当たって支障</u> <u>がないことを、下記のとおり確認しましたので、ここに誓約致します。</u></p> <p style="text-align: center;"><u>記</u></p> <p><u>確認方法、理由等：</u></p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p><u>指定給水装置工事事業者</u></p> <p><u>指定番号</u></p> <p><u>住 所</u></p> <p><u>氏 名</u> ⑩</p>	